

【社会科学研究科 経済学専攻】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
経済学専攻	M	DP1：深い学識をそなえ、一定の方法を用いて社会経済の情勢や問題を分析する能力	修士論文審査後に、審査委員会において修士論文におけるDP1の達成度について評価を行い、修士論文に関する成果を把握・分析する。
		DP2：様々な組織や活動において、経済的な状況を判断し、社会的に貢献できる能力	修士論文審査後に、審査委員会において修士論文におけるDP2の達成度について評価を行い、修士論文に関する成果を把握・分析する。
		DP3：経済学に関する専門的・学術的な研究能力	修士論文審査後に、審査委員会において修士論文におけるDP3の達成度について評価を行い、修士論文に関する成果を把握・分析する。
	D	DP1：経済学に関する深い専門的知識を持ち、社会経済の情勢や問題について高度な分析をする能力	博士論文審査後に、審査委員会において博士論文におけるDP1の達成度について評価を行い、博士論文に関する成果を把握・分析する。
		DP2：社会の様々な場面において、経済学的な見地から状況を判断し、指導的役割を担える能力	博士論文審査後に、審査委員会において博士論文におけるDP2の達成度について評価を行い、博士論文に関する成果を把握・分析する。
		DP3：独立した研究者として、自ら課題を発見し、研究を高度に発展させる能力	博士論文審査後に、審査委員会において博士論文におけるDP3の達成度について評価を行い、博士論文に関する成果を把握・分析する。

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用	レベル※
研究指導計画書	4月入学者：4月提出／9月入学者：10月提出	修業年限内の 全年次生	主指導・副指導教員がその指導学生のDP達成に向けて作成した研究指導計画書を専攻主任と研究科長が確認することで、研究指導の改善に活用。	学位プログラム レベル／授業科目レベル
研究指導報告書	各学期末	修業年限内の 全年次生	副指導教員がその指導学生のDP達成のために行った研究指導の報告書を専攻主任と研究科長が確認することで、研究指導の改善に活用。	学位プログラム レベル／授業科目レベル
授業評価アンケート	毎学期	修業年限内の 全年次生	専攻で実施し、アンケート結果を専攻会議と研究科委員会で確認し、教育方法、研究環境の改善に活用。	学位プログラム レベル／授業科目レベル
研究倫理教育プログラム受講実績	入学時（以降、3年に1度）	初年次	研究推進課が実施し、受講実績を大学院委員会および内部質保証委員会で報告して、研究公正の実現に活用。	学位プログラム レベル／授業科目レベル
学位論文計画書	所定の期日	修了年次生	専攻で共有することで、研究指導の改善に活用	学位プログラム レベル／授業科目レベル
学位論文	1月または7月	修了年次生	研究科専攻のDPの達成度の評価に活用。	学位プログラム レベル／授業科目レベル
修了時調査アンケート	修了時	修了年次生	修了までの学修成果の把握を行い、DP達成度の主観的評価に活用し、専攻会議・研究科委員会で確認することで自己点検・評価・改善にも活用。	学位プログラム レベル／授業科目レベル

※学位プログラムレベル：研究科専攻単位で実施 / 授業科目レベル：教員単位で実施